臺灣新報
本日夕刊共四頁

豫科士官校長に中澤中將
工兵監に河田中將
陸軍定期異動

【東京發】陸軍では今回三月一日附をもつて定期異動を行ひ、中澤三夫中將の豫科士官學校長、河田末三郎中將の工兵監、小倉達次中將の補給路師團長、上田昌雄少將の陸軍少將の豫科士官學校長兼ねて兒玉久雄少將の陸軍省兵務局長兼ねて吉岡重四郎少將の同局附兼ねて石川進三郎少將の陸軍省兵務局附兼ねて見玉久雄少將の陸軍省經理局長兼ねて吉岡重四郎少將の同局附兼ねて石川進三郎少將の陸軍省經理局附兼ねて見玉久雄少將の陸軍省兵務局附

臺灣南方語學校

南へ南への雄飛

來る四月から開校と決定

南方へ雄飛せんとするに一大拠点の建設が絶対必要であることは今更申すまでもないが、これが為には南方語学校の設置が焦眉の急務であるとの見地から、臺灣総督府では今回臺灣南方語学校の設置を決定、来る四月から開校することになつたが、これが設置は遠く昭和十四年頃から計画されてゐるが、その後諸般の情勢に鑑み、一日も早く南方語学校の設置を実現すべく、今回愈々開校することになつたもので、校舎は臺北市内に建設中であるが、それまでは臺北高等女学校内に仮校舎を設けて授業を開始することになつてゐる。

募集

入学者は第一部（専門部）第二部共各二百名、第三部（予科）二百名で、第一部は中等学校卒業者又は同程度以上の学力ある者、第二部は第一部を卒業した者又は同程度以上の学力ある者、第三部は中等学校卒業者又は同程度以上の学力ある者で、入学者は三月二十八、二十九、三十の三日間、臺北の臺灣南方協会又は同校宛「入学願書」を提出されたい

期間

第一部（専門部）三年、第二部一年、第三部（予科）一年

学科目

第一部（専門部）南方語学科、南方事情学科、第二部（一年）南方語学科、南方事情学科、第三部（予科）南方語学科、南方事情学科、数学、理科、体操

授業料

第一部（専門部）及第二部（一年）は月額金二円、第三部（予科）は月額金一円

入学試験

第一部（専門部）及第二部（一年）は三月三十日臺北高等女学校に於て、第二部（二年）は四月一日同校に於て、第三部（予科）は四月一日臺北第一中学校に於て行ふ

入学者数

第一部（専門部）第一部（専門部）を卒業した者（四年修了者）及これと同程度以上の学力ありと認める者

第二部（一年）第一部（専門部）第二部（一年）を卒業した者及これと同程度以上の学力ありと認める者

第三部（予科）中等学校卒業者又は同程度以上の学力ありと認める者

四月

から臺北市外臺北に於ける南方語学校の開校式を挙行する筈であるが、これが設置については、臺灣総督府では今回臺灣南方協会を設立するに当り、その事業の一部として南方語学校の設置を決定したもので、校舎は臺北市内に建設中であるが、それまでは臺北高等女学校内に仮校舎を設けて授業を開始することになつてゐる。

募集

人員は第一部（専門部）第二部共各二百名、第三部（予科）二百名で、第一部は中等学校卒業者又は同程度以上の学力ある者、第二部は第一部（専門部）を卒業した者及これと同程度以上の学力ある者、第三部は中等学校卒業者又は同程度以上の学力ある者で、入学者は三月二十八、二十九、三十の三日間、臺北の臺灣南方協会又は同校宛「入学願書」を提出されたい

期間

第一部（専門部）三年、第二部一年、第三部（予科）一年

学科目

第一部（専門部）南方語学科、南方事情学科、第二部（一年）南方語学科、南方事情学科、第三部（予科）南方語学科、南方事情学科、数学、理科、体操

授業料

第一部（専門部）及第二部（一年）は月額金二円、第三部（予科）は月額金一円

入学試験

第一部（専門部）及第二部（一年）は三月三十日臺北高等女学校に於て、第二部（二年）は四月一日同校に於て、第三部（予科）は四月一日臺北第一中学校に於て行ふ

入学者数

第一部（専門部）第一部（専門部）を卒業した者（四年修了者）及これと同程度以上の学力ありと認める者

第二部（一年）第一部（専門部）第二部（一年）を卒業した者及これと同程度以上の学力ありと認める者

第三部（予科）中等学校卒業者又は同程度以上の学力ありと認める者

南方建設工作の一部門

學術調査研究

敢闘する南方人文研究所

決戰生活展覽會

これが標準だ

五日から臺北市公會堂で開く

これが決戰生活の標準と決戰生活展覽會の一行標語を掲げた決戰生活展覽會は、臺灣總督府主催、臺灣文化協會共催の下に、五日から臺北市公會堂で開かれる。決戰生活の具體的標準を示すこの展覽會は、臺灣總督府の決戰生活運動の一環として、生活の合理化、簡素化を目標とし、衣食住生活に亘る決戰下の生活の在り方を一般に理解せしめ、その實踐を促すことを目的とするもので、會場は、一般觀覽者の參考に資するため、次の如く分類陳列されることになつてゐる。

衣生活の部

△衣料節約の實例に關する事項

△國民服下における衣生活の合理化に關する事項

△國民服下における新婦人會服及婦人標準服（昭和十七年制）

△各種國民服の標準型及び其の手入保存と洗濯に關する事項

△更生品實物示展

△更生品實物示展

食生活の部

△主食節約の實例に關する事項

△副食節約の實例に關する事項

△食生活の合理化に關する事項

△食生活の科學的研究に關する事項

△食生活改善の實例に關する事項

△食生活改善の實例に關する事項

△食生活改善の實例

夕刊 臺灣新民報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十九年三月二日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万五千八百七號　（一）

廣州灣占據地域の我が軍政を撤廢

國府移管の調印了る

【桂林一日發同盟】我が南支那派遣軍は昨年二月十六日廣州灣に上陸を敢行、同二十二日廣州灣を制壓して以來廣州灣内の飛行場を擴張しつゝあつたが、愈〻一年にして廣州灣の租借地行政權を國府に移管することとなり、四日十二時廣州灣に於て我が軍政を撤廢し正式に和平地域として國府側行政官に引渡すことゝなつた、これに伴ひ廣州灣に駐屯する我が軍隊は全部撤退することゝなつた

【南支臺報道部發表】二月一日十二時現在昨年二月二十二日廣州灣に進駐以來わが軍隊駐屯地域内の治安の維持に當つた我が軍隊は今般廣州灣の國府への移管に伴ひ全部撤退することゝなつた

地方海運局長も會長知事が兼任

【東京發】陸海軍の協力體制を一層緊密ならしめ戰力の增强を圖るため地方海運局長は地方長官が兼任することとなり二日發令の卽日實施された

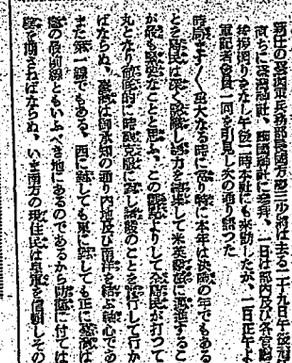
民生の安定全く確保

國府の治下に新發足

【重慶一日發同盟】蔣總裁は國府還都に際し各地の治安維持に關する訓令を發し之に各地の治安維持に當つては國府還都後も暫くの間は從來の組織機構を存續せしめ國府還都後も暫くの間は從來の組織機構を存續せしめ國府還都後も暫くの間は從來の組織機構を存續せしめ

臺灣日日新報　昭和十九年三月二日（木曜日）　第一万五千八百七號　（第三種郵便物認可）

臺灣は防衛の最前線だ
總力を結集滅敵に當れ
新任 國方臺灣軍兵務部長談



中堅層の人材を錬成す
島都 女子專門學校
四月開校
中等教員養成に重點をおく

本島の教育は初等教育、特に國民學校教育の普及徹底に重點が置かれ、中等教育も著しく普及しつつあり、又高等教育機關の整備も進められ、ここには唯一貫した教育體系と共に各種の教育機關が整備されるに至つた。

教育體系　さきに決戰下の本島教育の重點は、特に國民學校教育の普及徹底にあるとしたが、即ち女子に對する教育問題については、未だその徹底を期し難い實情にあつて、この不徹底と不利とをしのびつつ（これが實は國の不徹底と不利とをしのびつつ）内地決戰下に參加して來たのがその實情であつた。しかるに戰局の切迫と共に、國力の總動員體制の確立が緊要事となり、また國家の要請として、二億女子總動員體制の實現と、國防國家體制の確立に伴い、男子の職に代り、女子の職場に進出することとなり、また戰時下著しく不足せる中等教育機關の整備擴充と共に、女子の中等教育機關の整備擴充が緊要事となつた。

國家有用　の人物を養成することは勿論なるものがあるので府當局ではこの時局の要請と、島民の久しき待望に應えるため、いよいよ來る四月から國民學校高等科卒業生に對し、更に一段と高度の教育を施すことに決定した、なほ女子專門學校の學制は左の通りである。

獻穀田田植祭
七日・中壢街三座屋田で執行

【中壢通信】皇室御儀である中壢街三座屋田で執行される獻穀田の田植祭は、來る七日午前十時から同地で擧行されることになつた。

地下資源開發
新竹、竹東間
鐵道敷設測量

【新竹電話】新竹、竹東間の鐵道敷設測量については、既報の如く、昭和十八年度の豫算に編成されたが、この程測量班が新竹に到着、目下測量中である。

神道各派中堅傳道師を錬成

【新竹】本年の新竹州下に於ける神道各派の傳道師錬成の講習會は、來る十日から二十日まで十日間新竹神社社務所に於て開催することになつた。

教育體系　さきに決戰下の本島教育の重點は、特に國民學校教育の普及徹底にあるとしたが、即ち女子に對する教育問題については、未だその徹底を期し難い實情にあつて、この不徹底と不利とをしのびつつ（これが實は國の不徹底と不利とをしのびつつ）内地決戰下に參加して來たのがその實情であつた。しかるに戰局の切迫と共に、國力の總動員體制の確立が緊要事となり、また國家の要請として、二億女子總動員體制の實現と、國防國家體制の確立に伴い、男子の職に代り、女子の職場に進出することとなり、また戰時下著しく不足せる中等教育機關の整備擴充と共に、女子の中等教育機關の整備擴充が緊要事となつた。

國家有用　の人物を養成することは勿論なるものがあるので府當局ではこの時局の要請と、島民の久しき待望に應えるため、いよいよ來る四月から國民學校高等科卒業生に對し、更に一段と高度の教育を施すことに決定した、なほ女子專門學校の學制は左の通りである。

花蓮學校　開校準備を進めてゐた花蓮女子專門學校は、いよいよ四月の初め開校の運びとなつた。なほその女子專門學校は國防國家體制の確立に伴つて增加する女子中等教育機關の整備擴充の一環として設置されるもので、入學者は花蓮港廳下の女子高等小學校卒業生を對象とし、修業年限は二年である。

教員養成　花蓮學校は開校を前にして、既に教員養成の準備に着手してゐるが、同校は國防國家體制の確立に伴つて增加する女子中等教育機關の整備擴充の一環として設置されるもので、入學者は花蓮港廳下の女子高等小學校卒業生を對象とし、修業年限は二年である。

以上　學校の概要
文科（國語科）、理科（數學科）
各二年

人的　資源の確保策の上からも今後進んでその徹底強化されねばならぬ、しかしかうした徹底強化といつても一般の自發的なさゝ、ゝやかな協力と、國民各自の日常生活の合理化、能率化とを離れては、到底その實を擧げることは出來ないのであつて、いはば今後の決戰下に於ける徹底強化の基調は、飽くまで國民各自の自發的な